

平城宮跡歴史公園案内地図

第一次大極殿
平城宮跡資料館
朱雀門

遺構展示館
推定宮内省
東院庭園

各施設共通案内
開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休) 年末年始(12月29日~1月1日)



見学デッキ

見学時間 10:00~12:00
13:00~17:00
休館日 年末年始(12月29日~1月1日)
※なお、土日祝日は、工事が休工となる予定です。



復原事業情報館

開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)
〈夏季(6~9月)〉10:00~18:30(入館は18:00まで)
休館日 2月・4月・7月・11月の第2月曜日(祝日の場合は翌日休) 年末年始(12月29日~1月1日)



平城宮いざない館

開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)
〈夏季(6~9月)〉10:00~18:30(入館は18:00まで)
休館日 2月・4月・7月・11月の第2月曜日(祝日の場合は翌日休) 年末年始(12月29日~1月1日)

第一回 特別公開

平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院 南門復原整備工事



南門復原工事の概要

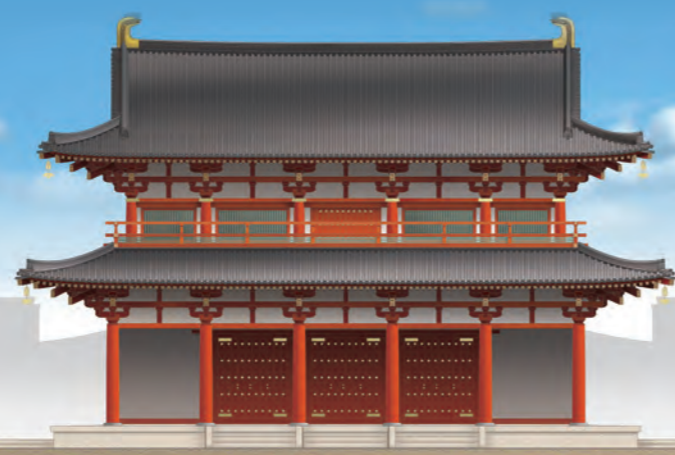
■南門建物概要

工期：2017年11月~2022年3月
構造：木造 五間三戸二重門
建築面積：449.81 m²
延べ面積：195.68 m²
最高の高さ：20.00 m
軒の高さ：14.14 m

■主な仕上げ

基壇：流紋岩質溶結凝灰岩(黄龍山石)
礎石：花崗岩
塗装：丹土・胡粉・緑青塗
土壁：漆喰塗
屋根：本瓦葺
銚金物：銅・青銅・金メッキ・金箔押し

■南門建物全体工程概要



国土交通省



平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site Historical Park



公開期間
2019 令和元年
5.25 (土) SAT
26 (日) SUN

主催
国土交通省 近畿地方整備局
国営飛鳥歴史公園事務所

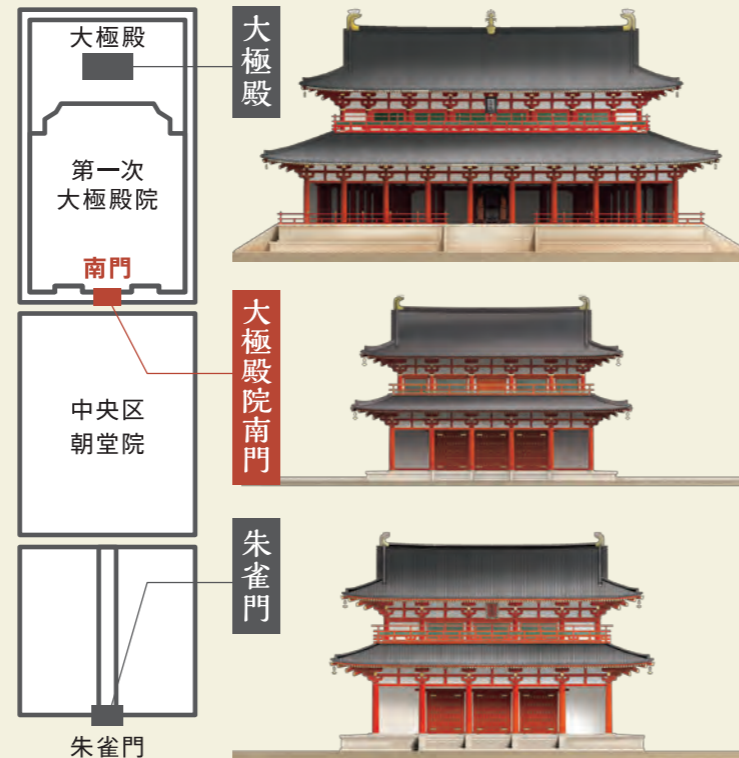
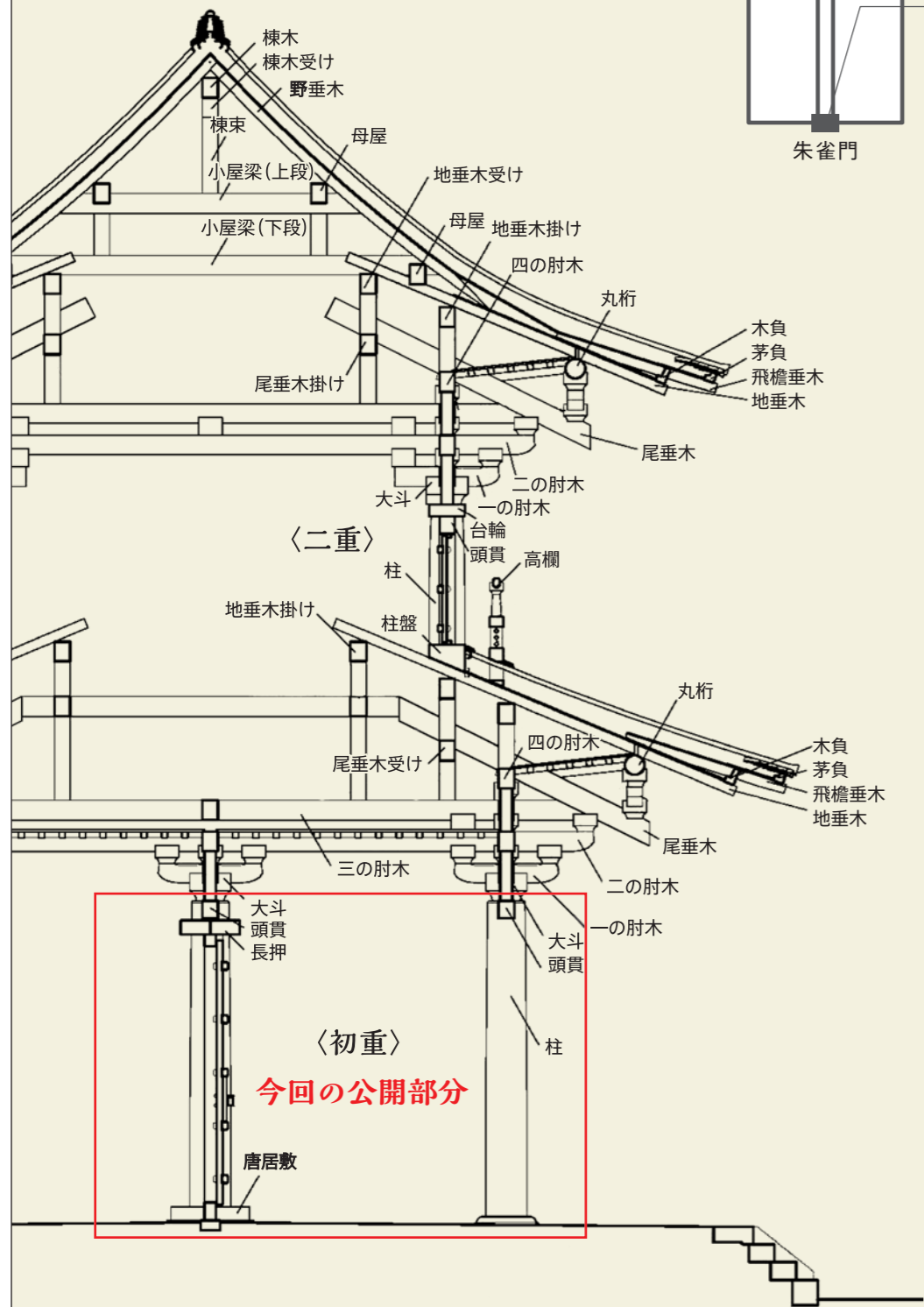
協力
奈良文化財研究所 文化財建造物保存技術協会
清水建設株式会社

公式facebookページ: <https://www.facebook.com/平城宮跡歴史公園>
公式Instagramページ: <https://www.instagram.com/heijokiyusekirekikouen/>

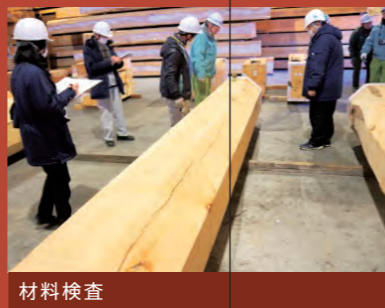
南門とは…

南門は、第一次大極殿院の正門であり、儀式の際には、天皇が出御することもありました。
入母屋造の二重門に復原され、間口約22.1m、奥行約8.8m、高さ約20.0mと、朱雀門よりやや小さな礎石建ちの建物です。

部材名称

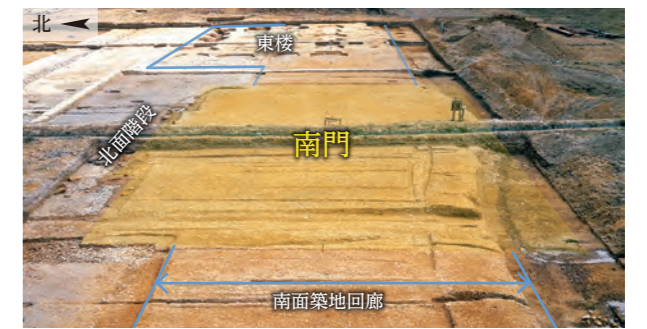


組立までの工程

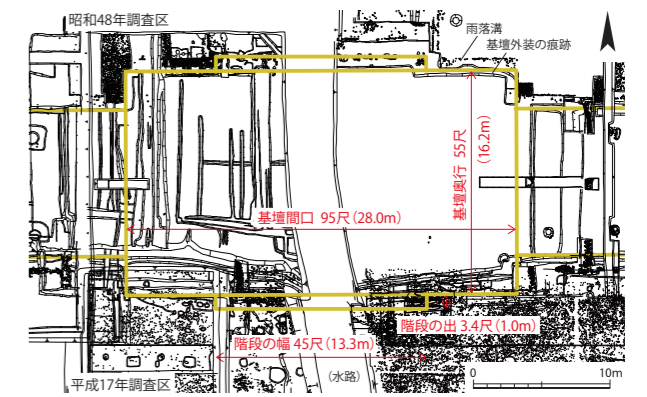


南門の発掘調査と柱配置の復原

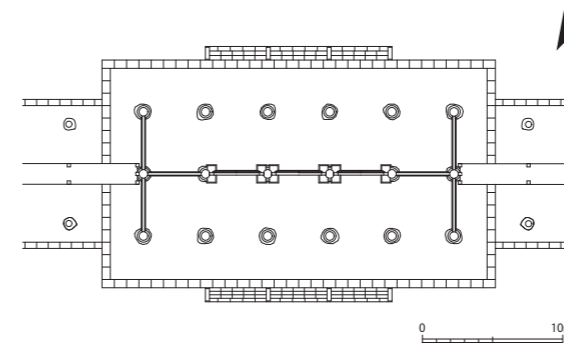
南門の主要な部分の発掘調査は、奈良文化財研究所が昭和48年(1973)と平成17年(2005)に行いました。
南門の遺構は後世に大きく削られており、柱の位置を直接示す痕跡は確認できませんでした。しかし、建物下の基礎(基壇)の地盤改良の痕跡と、基壇の側面を覆う石材(基壇外表)や階段の痕跡、屋根から落ちる雨水を受ける溝(雨落溝)を検出し、基壇と階段の大きさが判明しました。
北面の階段は改修が多く、当初の大きさがつかめませんでした。南面の階段で当初の大きさがわかり、復原研究の大きな手がかりとなりました。
このように、発掘調査で得られた南門についての情報は、基壇と階段の大きさ、および雨落溝のみでした。ただし、南門の基壇は、間口に対して奥行の割合が比較的大きいという特徴があります。こうした特徴は、深い軒をもつ重層の建物にとまなう傾向があることがわかりました。
これらの手がかりをもとに、まず、南面階段の幅から間口中央部の柱位置を復原しました。そして、文献史料や絵画資料、発掘類例、現存する古建築の分析等に加え、屋根の形やその張り出し(軒の出)、柱上の木組み(組物)といった、建物の上部構造を一体的に検討し、柱配置を復原しました。
こうして、全体の大きさは間口5間×奥行2間、柱間は間口・奥行とも15尺(4.4m)の二重門に復原しました。



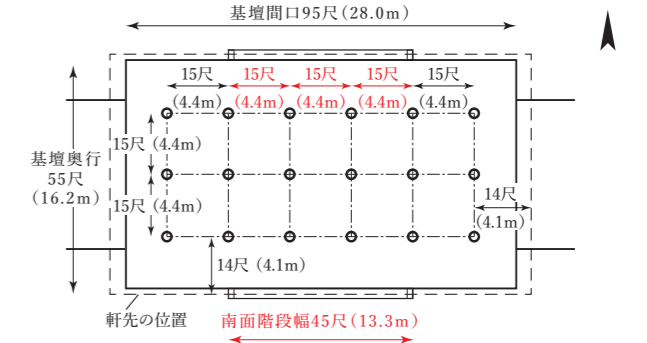
昭和48年の発掘調査(西から)



発掘遺構平面図



復原平面図



復原平面模式図